

Action! sheet

### <運動の背景・目的>

#### ① 実施背景

大多数の企業は人手不足感を抱えており、2024年には人手不足による倒産が過去最多となっています。効率化やスキルアップに留まらず、誰もが活躍できる環境が必要とされている。

#### ② 実施目的

活躍の場が限られている人々に企業が着目して、活躍の場を広げることを目的とする。

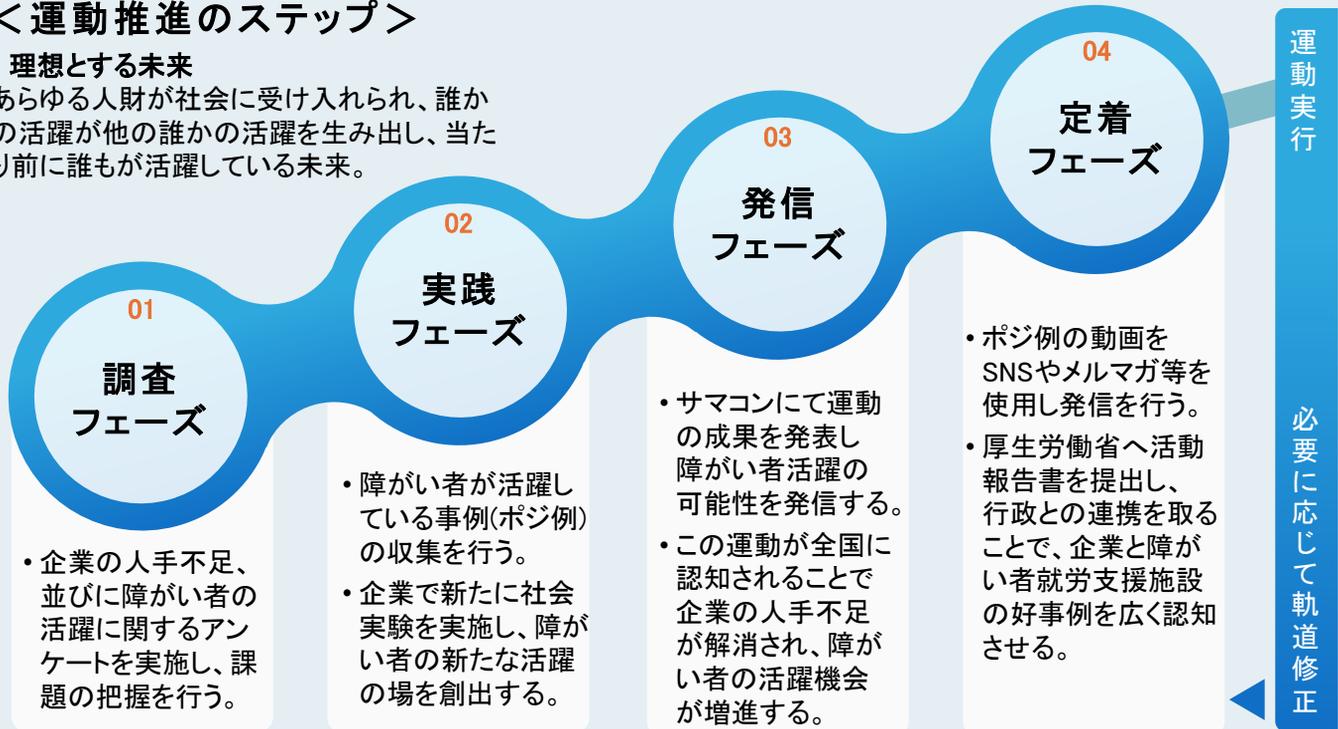
### <実施スケジュール>

9月～	有識者、就業支援施設ヒアリングと調査
12月～	障がい者活躍に関するアンケート実施
2月～	ポジ例収集、社会実験の実施
7月～	サマコンにて成果発表
11月～	報告
12月～	引継ぎ

### <運動推進のステップ>

#### 理想とする未来

あらゆる人財が社会に受け入れられ、誰かの活躍が他の誰かの活躍を生み出し、当たり前前に誰もが活躍している未来。



### <パートナー、アドバイザー>

- 株式会社 オーリアル  
大塚 訓平 氏
- 慶應義塾大学 商学部  
中島 隆信 氏

専門的視点で動画制作や、障がい者施設への業務委託の提案をしていただいた。

### <サマーコンファレンスまでの成果>

#### ① 運動としての成果

アンケートを1208件実施。事例収集を100件実施し、新規社会実験を6件と動画発信を16件行う予定。

#### ② 地域の変化

地域で障がい者活躍のムーブメントが起こることで、より多くの企業が障がい者の活躍できる環境を生み、多彩な人財が地域でより輝ける。

Gian Pocket

誰でも地域に合った運動の構築ができる!  
運動の推進議案をチェック!

**gian pocket**



ACTION!

どうしたらいいかわからない!を解決する  
相談・サポートの申し込みはこちらから!  
日本JCの会議委員会が、2026年に向けた  
運動構築方法をサポート!

